

# ネットワーク仙台 No.69

会員団体の活動の様子をご紹介します！

## リフ超学校

▶令和4年度新規加入団体



リフ超学校とは ～利府町や宮城のまちを内面的に美しく～

リフ超学校は東日本大震災発災後、2013年に設立された利府町内の任意団体です（2023年3月時点）。設立時は学習支援などの教育活動を主軸に行っていました。その後よりよい教育活動の環境をつくるため、利府町のまちづくりそのものを根本的に活性化させないと、と考え活動範囲や内容を一気に拡大。RIFU ROCK FEST.という音楽イベントや若者のコミュニティ形成、学生と地場産業をつなぐインターンシップ事業、市民セクター運営強化事業等、幅広い活動を担当し教育をベースにしたまちづくり団体として走り続けています。

### ● MISSION1 : 地域で生きる人材を育成する

▶地域に対する好循環と自身の自己実現を両立できる人材の育成を行っています。

### ● MISSION2 : 正直者がバカを見ない地域社会を実現する

▶地域住民一人ひとりの小さな声や地道な頑張りが正当公平に認められ、対価が得られる地域社会の実現を目指しています。

### ● VALUE : 利府町を内面から美しく！

▶魅力的な観光資源や食べ物、安全で整備された生活環境等、外見的な美しさも利府町の魅力ですが、そこに住まう人、行き交う人の内面に寄り添うこと、市民や若者等の小さな声を拾って寄り添い自己実現に向かって伴走することにエネルギーを注ぎ、市民協働社会の実現に向けて町を活性化させることがリフ超学校の至上命題です。まちづくりを行う上で、そのメンバーの最小単位は「個人」です。個人の元気の集結が町を元気にするという考えのもと、個人の自己犠牲によるまちづくりからそれぞれの自己実現によるまちづくりを目指して日々活動しています。



リフ超学校が事務局を担っている「利府町市民活動研究会」の様子  
概要は次のページで⇒

地域の皆さんと一緒に取り組んでいる活動をご紹介します。

## ●活動の3本柱

▶活動内容を「学校」別に紹介します。

### 1. 若者の学校

インターンシップ、交流会、部活動ゼミ活動を実施して若者や学生にエネルギーを注ぎ、若者世代の「遊び」「学び」「働き」「住まい」「集い」の基盤をつくります。若者が“させられるまちづくり”から“主導するまちづくり”を目指します。

特に近年ではインターンシップ活動に力を入れ、これから社会に向かう当事者が「どう生きるか」という自問自答をサポートすることに注力しています。



町内の音楽スタジオで  
1日インターンシップを実施しました

利府梨の販売インターンシップでは  
地域の農家の方と連携して学生を受け入れました



### 2. NPOの学校

公的なNPO中間支援システムを有しない利府町内において、利府町市民活動研究会というコミュニティを立ち上げ、利府町内で市民活動・地域活動を行う人材が集う仕組みをつくり、日々意見交換や情報共有、リソースを共有したり親睦を深めたりといった活動をしています。市民セクター全体の活動運営力を強化し、他セクターとの対等な協働と地域活性化を促します。



同じ町内で活動する団体、個人が集まり、  
テーマ別にワークショップを行ったり、  
情報交換を行ったりしています

日々の情報交換や研鑽の中から試験的な  
プロジェクトが生まれ、多団体協働で  
運営を行うこともありました



### 3. 文化芸術・思想の学校

利府町内で開催している「RIFU ROCK FEST.」等イベントにて文化芸術活動の機会を創出し個人の表現活動を応援しています。また文化芸術コンテンツの歴史や市民権獲得について、各種ワークショップを交えながら学ぶ機会を創ります。このほか、多様性と共存する社会の実現を意識して、各種ワークショップにて「生き方」についての思いの整理等、それぞれの生き方や考え方に寄り添い一人ひとりの「生」が力強いものになるよう促します。



「RIFU ROCK FEST.」の様子  
団体内外から実行委員、出演者、出展者  
(展示、ワークショップ、物販で作品を披露)を募り  
それぞれのチャレンジの機会をつくりだしています

「近現代の文化歴史体験ワークショップ」の様子  
レトロゲームの展示や体験を行いました



### 今後について

NPO法人化等の組織基盤強化やネットワークの拡大により、それぞれの事業効果を今以上に高めることを考えています。そのため既存の活動も次年度から生まれる新しいプロジェクトも、HPを中心に勢力的な情報発信を行い、町内にとどまらず幅広い地域のみなさんに向かって、参画や支援を呼びかけるよう努力しています。



<お問い合わせ先>

▼リフ超学校

〒981-0104

宮城県宮城郡利府町中央 1-2-6-101

TEL : 080-5228-3833

E-MAIL : info@rifucho.com

H P : <https://rifucho.com/>

WATALIS とは ～東日本大震災の被災地 亶理町で「人と学びの環」を創る～

WATALIS は、震災後に地域の女性たちで立ち上げた団体です。東日本大震災の被災地である宮城県亶理町で、震災で崩壊した地域コミュニティを再構築し「人と学びの環を創る」ことを目的として活動しています。



地域の皆さんと一緒に取り組んでいる活動をご紹介します。

## ●運営事業

▶WATALIS さんはとても幅広い分野で事業を展開されています。今回はその一部を紹介します。

### 1. 手しごとワークショップ事業

手しごとの楽しさを分かち合い、ものづくりの技術を伝承していくために定期的にワークショップを行っています。東日本大震災の被災地で、誰もが気軽に立ち寄り学ぶことができる開かれた交流の場を開設しています。

WATALIS は、まだ任意団体だった 2012 年度から被災地域での交流の場づくりに着手しました。これまで 11 年以上に渡り、ものづくりワークショップやイベントを開催してきました。

参加して下さった地域の高齢者の皆さんからは「外出するきっかけになっている」「ものづくりが好きな人同士の仲間ができた」「若い時は余裕がなく、習い事ができなかったのでとても嬉しい」「お互いの作品を見ながら、みんなで茶を飲む時間が楽しみ」などの声が寄せられています。



手しごとワークショップの様子  
仲間と取り組むものづくりで、みんなが笑顔に！

### 2. コミュニティカフェ「中町カフェ」運営事業

中町カフェは、丁寧なものづくりと出逢えるお店です。木のぬくもりあふれる店内は、手しごとワークショップの会場としても活用され、地域の皆さんの居場所となっています。

亶理小学校のすぐそばにある白い喫茶店。昭和 40 年代築のガソリンスタンドの事務所だった建物を改装し、2016 年に OPEN しました。地元の人たちが親しみやすく覚えやすいように、中町という地名をいかして「アトリエ&喫茶 中町カフェ」と名付けました。天然木やタイルをふんだんに使ったぬくもり溢れるあたたかな雰囲気、とても居心地の良い空間です。

地元の女性たちが手づくりした着物地の小物をはじめ、海外の手しごと品も並ぶ店内は、丁寧なものづくりと出逢えるお店です。「手しごとワークショップ」の会場としても活用され、地域の皆さんの居場所にもなっています。

中町カフェでは、遊休農地で栽培した農作物を素材にして障がい者就労施設の皆さんと共同で開発した菓子類をカフェメニューとして提供しています。

厳選した国産材料を使い、一つひとつ丁寧に手づくりした身体に優しい美味しさです。お持ち帰り用にパッケージした商品も準備しておりますので、ご自宅でのティータイムや大切な方への手土産にもご利用いただけます。



中町カフェの内装  
自然素材をふんだんに使った懐かしくて新しい空間

### 3. 遊休農地活用事業

農作物を栽培し、それらを使った商品を障がい者就労施設の皆さんと共同で開発・販売しています。蜜源植物の植栽と養蜂も行い、亘理の豊かな自然環境の保全と持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

#### ▶ミツバチプロジェクト

イチゴ栽培が盛んな亘理町では花粉交配用にセイヨウミツバチを飼育している農家も多くいます。また、里山には少数ですがニホンミツバチも生息しています。環境指標生物であるミツバチに焦点を当てて飼育を行い、亘理の豊かな自然環境の保全と持続可能な地域づくりに取り組んでいます。採集したハチミツを皆で分かち合い、心も身体も健康で笑顔で暮らせる「亘理らしい地域復興」を目指しています。また、農地の荒廃を防ぎ景観を維持するために、多様な人々が集い、交流の場となるビーガーデンづくりにも取り組んでいます。



#### ▶野菜づくり

亘理町では震災後に若年層が通勤通学に便利な都市部に流出し、高齢化がゆっくりと進行しています。その一方で、農家数と経営耕地面積が減少し、農地の集約化が進んでいます。〈第5次亘理町総合発展計画第1回審議会(令和2年7月2日)資料「データなどから見る亘理町」より〉

大規模な専業農家が増えていく中で、活用しにくい点在する狭い農地が取り残されつつあります。「土地が荒れるのを見るのは辛い、せめて雑草は生やすまい」と耕運機をかけるのが精一杯だという農地も増えています。私たちは農作物を栽培し、障がい者就労施設の皆さんと共同でそれらを使った商品を開発・販売しています。オンラインショップでもご購入いただけます。

(URL) <http://watalis.com/>





野菜づくりプロジェクトでは、子どもから高齢者まで世代を越えた交流の場になっています

## 団体より ～賛助会員募集のおしらせ～

私たちの活動を応援して下さる賛助会員を募集しております。法人・個人など、各方面からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。（入会方法等、詳細はお問い合わせください）

### ▶会費について

- ・法人会員：50,000円 / 1口
- ・個人会員：10,000円 / 1口
- ・口数：1口以上 何口でもOK

### ▶会員特典

- ・ホームページや広報誌で、ご芳名を紹介させていただきます。  
（公表を希望されない場合を除く）
- ・3口以上の法人様は、ホームページにバナーを掲載させていただきます。

- ・有料の講座やイベントに、会員割引価格でご参加いただけます。
- ・年1回、ハチミツや農作物を加工した菓子などのお礼の品をお送りします。



収穫した野菜からつくったクッキー  
▼ 編集者のおすすめはきな粉クッキーです

<お問い合わせ先>

▼一般社団法人 WATALIS

〒989-2351

宮城県亶理郡亶理町字中町 22 番地

TEL：0223-35-7341

E-MAIL：info@watalis.jp

H P： <http://watalis.com/>

## 事務局からのお知らせ

### 全国協議会助成事業の募集が開始されました

昨年に引き続き、令和5年度の全国協議会助成事業の募集が始まりました。

#### ▶地域づくり団体活動支援事業

#### ▶地域づくり団体クラウドファンディング活用支援事業

助成金を活用するためには、全国協議会への登録と、（一財）地域活性化センター賛助会員（年会費3,000円）への登録が必要となります。

※当助成事業は予算額に達し次第受付終了となります。活用を検討される場合は、計画ができた段階で当事務局までお早目にお問い合わせください。

## そのほかのお知らせ

### 1. 会員登録情報の変更について

仙台支部にご登録されている会員の皆様に連絡が取れないことがあります。

住所、電話番号、メールアドレス、ご担当者様の変更などがあった場合、所定の様式で変更の手続きを行う必要がありますのでご注意ください。

様式「地域づくり団体登録シート」は当支部ホームページに掲載していますので、変更があった場合はダウンロードの上、ご提出の程よろしくお願いいたします。

### 2. イベント情報の募集

仙台支部では、ネットワーク仙台の発行だけではなく、支部会員の皆様へ情報メールを送信しています。会員の皆様へお知らせしたいイベント情報がありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。

## 編集後記

ご紹介した団体様にはお時間をいただきまして、実際に団体の活動へ参加したり、訪問して直接お話を伺ったりしました。

リフ超学校様の「利府町市民活動研究会」では、地域の方々の熱意などを直接肌で感じてきました。普段の仕事ではなかなか聞けないお話・意見交換など貴重な体験をさせていただきました。

WATALIS 様には、団体の設立背景や非常に幅広い取組み、ご自身の体験談などたくさんのお話を「中町カフェ」内で伺いました。記事にも掲載しているように雰囲気良く、リラックスしながらお話ができましたので、ご覧になった方もぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

今回記事の掲載にご協力いただきました、リフ超学校 佐々木様、WATALIS 引地様、非常にお忙しい時期にもかかわらずお引き受けいただきありがとうございました。（事務局 吉田）

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部事務局（宮城県仙台地方振興事務所地方振興部内）

〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

TEL：022-275-9114

FAX：022-275-0296

E-mail：[sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp](mailto:sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp)

支部HP：<https://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-sendai/tikidukurisendai29-7.html>